

【教材名】「走り高跳び」(全7時間)

【教材目標】

- ・リズムカルな助走から力強く踏み切って跳ぶことができるようにする。(知・技)
- ・自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思・判・表)
- ・運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。(主)

指導計画	
次	(時数) ◎本時
1	着地の仕方を考える
2	助走や踏切の仕方を考える
3	空中姿勢の仕方を考える
4◎～6	より高く跳べるように場や跳び方を工夫する
7	高く跳ぶ方法を共有し合い、記録を伸ばす

【本時の目標】(5/7)

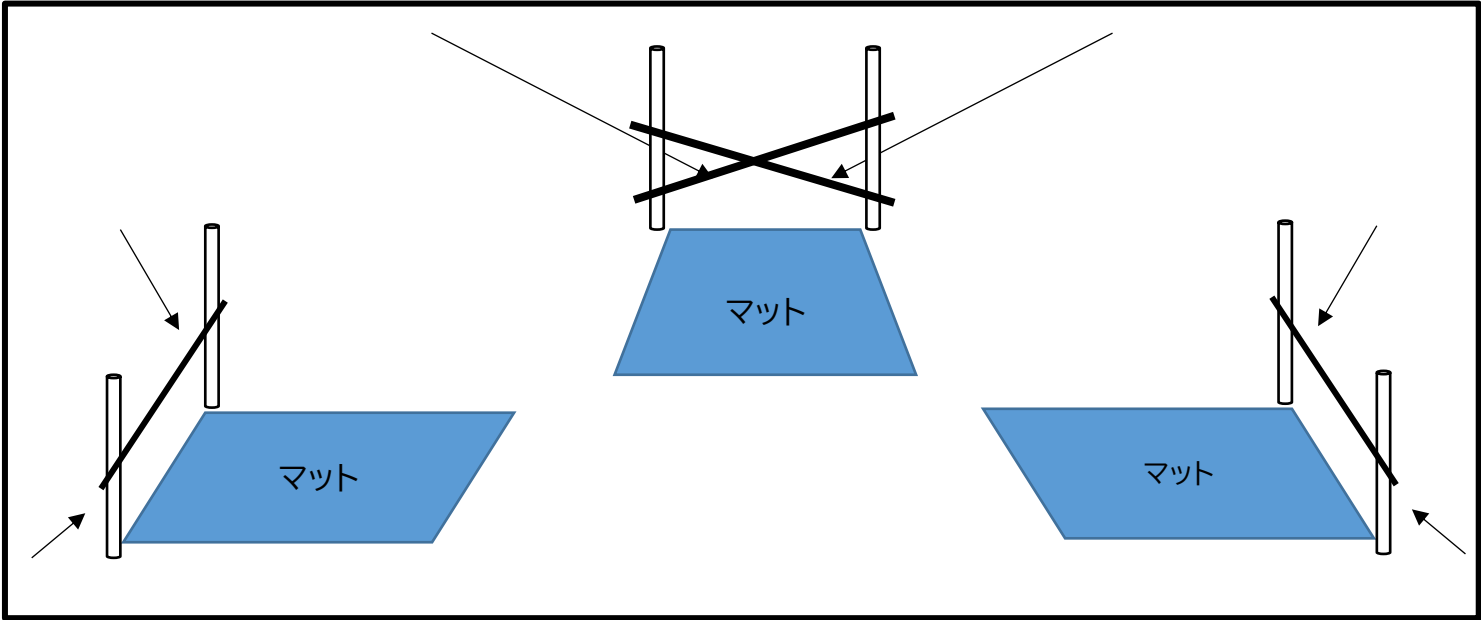
- ・より高く跳ぶ方法を考え、記録を伸ばそう。

【本時の評価規準】

- ・自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫することができる。(思考力・判断力・表現力)【観察・学習カード】

【東戸山小授業を観る視点】

- ・系統性を意識し、授業者がポイントを言わないようにしたことは、児童の自ら考える力になったか。
- ・日々の児童理解を生かし、個に応じた支援ができていたか。



学習過程	導入	展開 1	展開 2	まとめ
学習活動	①整列・挨拶 ②用具の準備 ③ジャンプタイム (準備運動)	より高く跳ぶ方法を考え、記録を伸ばそう		⑦用具の片付け ⑧ふりかえり ⑨整理運動 ⑩整列・挨拶
		④試しタイム ・今まで学習したことを活かして跳ぶ。	⑤学びタイム ・児童同士で課題やよいところを伝え合う。 ⑥チャレンジタイム	
時間	3分	10分	20分	12分
・指導上の留意 ☆評価方法(観点)	・めあてを確認し、見通しをもって学習に取り組めるように学習の流れを揭示する。	・タブレット端末を用意させ、動画を撮影することで課題を見つけたり、取り組んだりさせる。	・めあてに対して自分はどうのように取り組むのか考え、練習する。	・自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫することができる。(思考力・判断力・表現力)【観察・学習カード】